

現在出資金はファイルの通りでございます。当方は50万円の出資をしております。最低出資者は25万円の堀口正行でございます。私が、組合に入会させていただいたときに出資金が50万円で、組合加入金が50万円という事で加入させていただきました。

7年ほど前出資額のファイルの存在を当方は知らされていませんでした。認識として自分の出資額は50万円と言う事で証拠はありませんでした。各組合いの出資額の登記書類が存在するにも関わらず登記書類を隠ぺいし、新井の出資額は43万円だと当時会計だった堀口が黒板に書いて説明しました。

出資額が全部で650万円だから、15人で割ると一人43万円で皆平等だ！お前たち組合員が辞める時には一切返金しない。定款も返金しないように書き換える」と言い始めました。返さないことで組合員に信じ込ませたのです（音声あり）。

50万円出資した人間は自分以外に5人です50万円出資した人間は43万円に減らされれば面白くないのは当然のはずです。自分もとても憤りを感じましたでもこれからは、平等になるはずだから、組合内の金銭の流れも透明性を帯びてくるだろうと言う思いでおりました。

でも私はそこでも騙される結果となりました。出資額の取りきめの後出資額の登記書類を前事務員の片岡様からもらい愕然としました。なんと堀口の出資金は25万円と最低出資額で登記してありました。人の出資額を減らして自分の出資金を増やそうと工作したのです。

前事務員からは「新井さんは43万円なんておかしな金額に妥協しては駄目だよ」と言われたのですが、ほとんどの方がその金額で納得したようですので「郷に入れば郷に従え」という言葉があるとおりで、自分は一番最後に加入した人間ですのであまり波風立てたくないと言う気持ちと、平等だと言われれば文句はありませんでした。

平成23年の総会の際に一人43万円の証券を提出及び証拠の登記簿の情報開示をしましたところ、理事長の堀口は「それはできません。定款も見せられない」という事でした。

会計士に聞いたところ「平均に一人43万円そんなバカなことはできません」と言われたらしいです。当方も弁護士に相談したところ笑いながら「それは組

合員の皆さまの同意があったとしても無効です」と言われました。「組合が組合位員の財産まで奪えない」という答えでした。一人43万円の出資金並びに定款を書き換えたという雰囲気だけ作っておいたのです。

しかし平等どころか、堀口が理事長になってからさらに自体は悪くなりました。組合全員が役場発注の現場代理人を拒否する事を良い事に、恩着せがましさを押しつける事が多くなりました。

前回も記載しましたがあまりにも悔しいので自分が代理人を受けることを伝えると、頓珍漢な言いわけで拒否されました。当方に代理人としての実績を役場に示されるのが嫌なのでしょう。新井に積算させるな！というのはそういう事です。

小山様が若い人間にどんどん代理人をやらせなければ育たないとおっしゃった時も「俺たちは辞めちまうんだから関係ない」ような話です（音声あり）。結局、人の財産を搾取しようと考え、長年の組合の談合で組合員に分からないように暴利をむさぼり、挙句の果てに談合を拒否した当方の財産を奪い、老いたと感じたら「おれたちは組合なんて辞めるんだから関係ない」そんな人間なのです。残された組合員の事なんて考えていません。

「これからも積算に名乗りを上げる人間には談合の札を作ってもらう」過去10年に2回談合疑惑で新聞に掲載され、今回3回も掲載されたのにも関わらず、懲りていません。この様な土木業界の談合を擁護するような町には失望しております。

もちろん私は、仕事に対する欲もあり金銭的にも裕福でありたいと思います。自分は「談合告発が正義だ」というヒューマニズムを語れるほど、真っ当な生き方はしてきておりません。
しかし、こんな私の中にも悪いのにも限度があります。泥棒 なんてかわいいものではないと思います。

来年の春には自分の息子も私の会社に就職するようです。現状を説明したところ、「俺も親父と同じ事すると思うよ」なんていう始末です。この様な現状を後世に残したくないと思うのは私だけなのでしょうか？

処分されても全然懲りない連中の録音ファイルを近日公開いたします。

何回も言うようですが深谷市のようにすべての土木工事を地元に本定位を置く点数制による最低制限価格制度のある一般競争入札（ダイレクト入札）を導入を考えて頂きたく思います。

以前政策推進課にお伺いしそのような考えはないのかお尋ねしましたところ指名委員会が決める事だから分からないといわれてしまいました。

当方の主張だけで恐縮です。